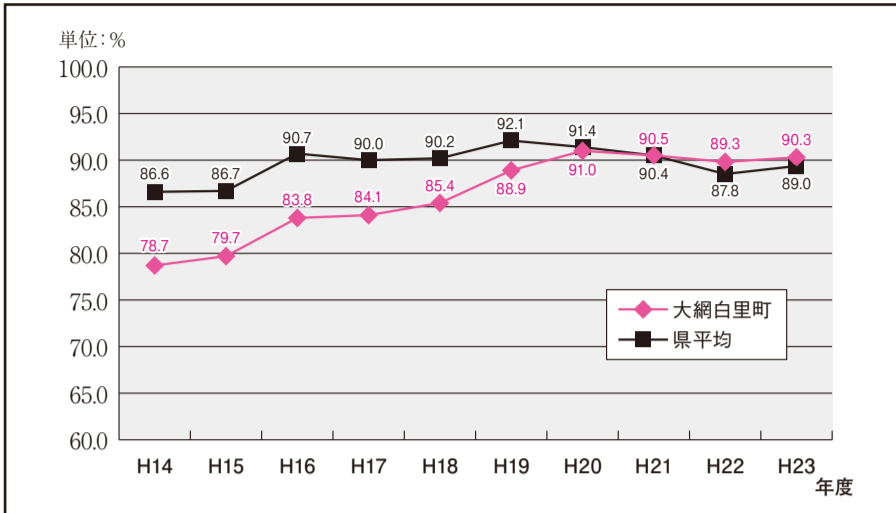


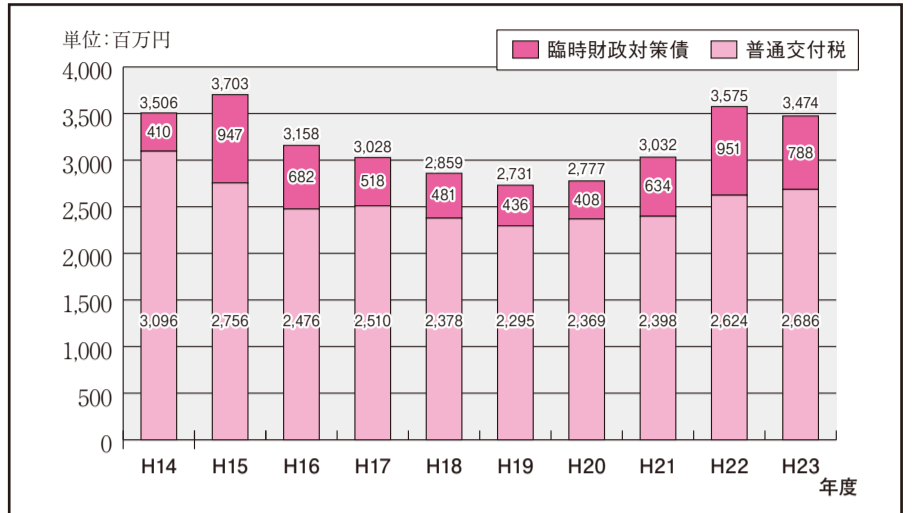
### 経常収支比率の推移(普通会計)

経常収支比率とは、毎年固定的に支出される経費に充てられた一般財源の割合を示す指標で、この比率が高いほど財政運営上の自由度が低くなるとされています。平成23年度は、臨時財政対策債の発行可能額が減額されたことから、経常収支比率が若干悪化しました。



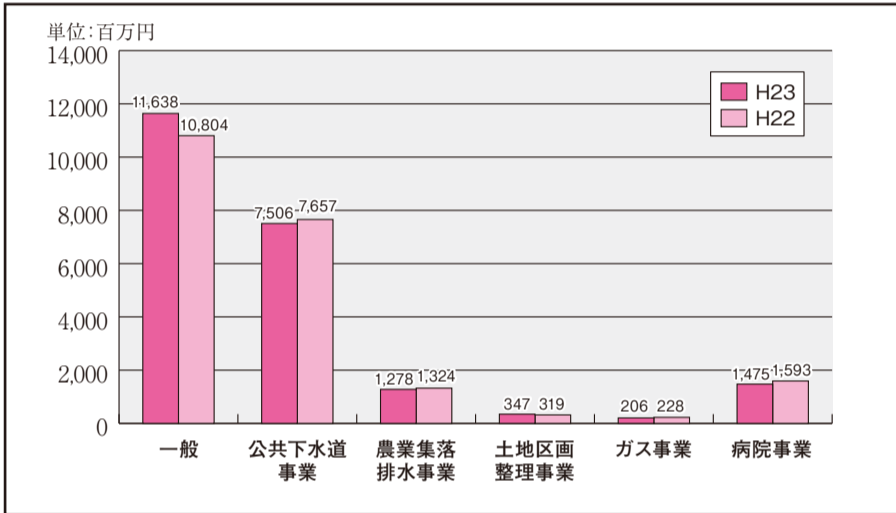
### 普通交付税等の推移

平成23年度の普通交付税は、臨時財政対策債(制度上、普通交付税の一部を町債に振り替えたもの)を加えた実質的な額で、34億7千4百万円となりました。普通交付税は4年連続で増額となりましたが、臨時財政対策債は大幅な減額となりました。



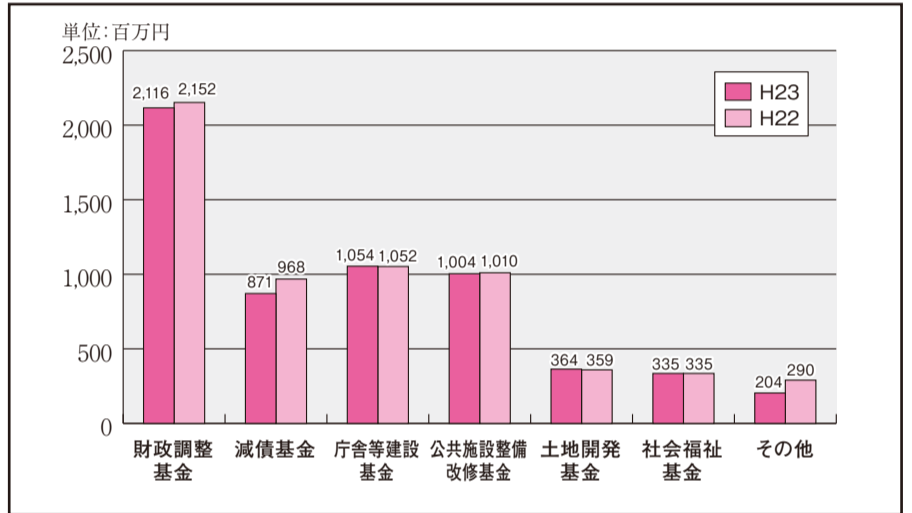
### 借入金残高の状況(全会計)

平成23年度末の借入金残高は、全会計合計で約224億5,117万円となり、前年度と比べ、約5億2千6百万円の増額となりました。主な理由としては、大網小学校移転改築事業で約6億8千万円借り入れたためです。



### 基金現在高の状況(全会計)

平成23年度末の基金現在高は、約59億4千8百万円です。平成22年度末と比較すると、合計で約2億1千8百万円の減額となりました。



### 平成24年度一般会計・特別会計上半期収支状況

(千円、%)

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般	13,463,086	6,168,164	45.8	4,796,555	35.6
特別会計					
国民健康保険	5,664,106	1,836,671	32.4	2,121,137	37.4
後期高齢者医療	393,315	133,966	34.1	80,586	20.5
土地取得事業	20,725	508	2.5	0	0.0
公共下水道事業	1,296,409	203,864	15.7	338,559	26.1
農業集落排水事業	145,824	12,886	8.8	58,594	40.2
介護保険	3,282,365	1,296,041	39.5	1,323,303	40.3
介護サービス事業	18,204	4,992	27.4	7,001	38.5
土地区画整理事業	500,345	82,944	16.6	65,474	13.1

### 平成24年度公営企業の状況(8月31日現在)

#### ○ガス事業

区分	8月	8月末累計
調定戸数	11,046戸	55,222戸
販売量	346,981m <sup>3</sup>	2,876,601m <sup>3</sup>
平均使用量	31.4m <sup>3</sup>	52.1m <sup>3</sup>
平均売上額	2,870円	4,374円

科目	予算現額(千円)	収入・支出済額(千円)	収入・執行率(%)
ガス事業収益	685,136	254,878	37.2
ガス事業費用	667,162	176,861	26.5

#### ○病院事業

区分	患者数(8月末累計)	1日平均患者数(※)
入院	12,040人	78.7人
外来	30,624人	288.9人

※8月末累計

科目	予算現額(千円)	収入・支出済額(千円)	収入・執行率(%)
病院事業収益	2,156,450	948,076	44.0
病院事業費用	2,106,784	932,488	44.3

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成23年度決算に基づく「健全化判断比率」を算定したところ、いずれの指標におきましても早期健全化基準を下回る数値となりました。

- (1)実質赤字比率: 一般会計等の実質赤字の標準財政規模(※)に対する比率
  - (2)連結実質赤字比率: 全ての会計の実質赤字の標準財政規模に対する比率
  - (3)実質公債費比率: 公債費及び公債費に準じた経費の標準財政規模に対する比率
  - (4)将来負担比率: 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
- ※標準財政規模: 地方公共団体が通常取入されるであろう経常的一般財源の規模を表すものです。

また、公営企業会計における「資金不足比率」を算定したところ、資金不足の発生した公営企業はありませんでした。

### 平成23年度決算に基づく健全化判断比率

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
大網白里町比率	- (-)	- (-)	11.5%(10.8%)	54.7%(32.7%)
参考				
早期健全化基準	13.47%	18.47%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	40.00%	35.0%	-

・実質赤字額、連結実質赤字額は発生していないので、「-」と記載  
・( )内は前年度数値

### 平成23年度決算に基づく資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準	備考
ガス事業会計	- (-)	20.0%	剰余額 572,702千円
病院事業会計	- (-)	20.0%	剰余額 304,361千円
公共下水道事業特別会計	- (-)	20.0%	実質収支額 18,730千円
農業集落排水事業特別会計	- (-)	20.0%	実質収支額 3,323千円

・資金不足額は発生していないので、「-」と記載  
・( )内は前年度数値

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$